



流失した河川堤防を緊急復旧

緊急復旧で

二次被害を防止

発災から半年後に、すべての緊急復旧工事を完了

東北地方整備局が管理する 12 水系のうち太平洋側の 5 水系で合計 1,195 カ所の被害が発生したが、そのうち当事務所管内の被害はそのうち約 7 割を占める 861 カ所にものぼった。

そのため被災直後から応急復旧に取り組み、二次災害を防止するとともに、特に被災の大きい 23 カ所は堤防盛土やブロック張りを施す「緊急復旧工事」を実施。平成 23 年 4 月 2 日の江合川の工事完了をはじめとして、平成 23 年 7 月 11 日までに全ての緊急復旧工事が完了した。

河川管理施設の応急復旧を最優先

北上川水系における多くの直轄河川管理施設で、堤防決壊、堤防の亀裂・沈下、樋門・樋管の損傷、護岸の崩壊などの被害が確認されている。

被災箇所のうち堤防決壊などの損傷の激しい箇所は緊急的に工事を行い、それ以外の箇所では、必要に応じてシート張りなどの応急復旧を行った。

北上川水系における河川管理施設の被害状況 【合計 646カ所】



平成 24 年の出水期までに、従前と同程度の安全水準までの復旧を実施

北上川河口部の河川堤防、暫定 1 車線で供用 平成 23 年 3 月 14 日



緊急復旧工事完了 平成 23 年 6 月 11 日



北上川河口部（石巻市釜谷地区）では、道路兼用の河川堤防が 1,100m にわたって流出し集落が孤立。救援活動も行えなかった。暫定 1 車線での通行を確保し、緊急車両の通行や緊急物資輸送が実現した。同様の被災を受けた道路兼用の河川堤防も、交通確保を最優先に復旧活動が行われた。